

褥瘡

◆読み方◆

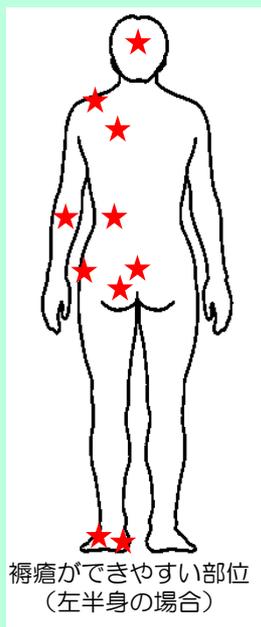
褥瘡は「じょくそう」と読みます。漢字は難しいですが、簡単に言えば床ずれのことです。

◆原因◆

褥瘡の原因は、圧迫により皮膚などの末梢血管に十分な血液が流れなくなることです。血流が悪い状態が続くと最終的には組織が死んでしまいます（壊死）。死んだ組織は、ただれて崩れ落ち、細菌が入ると感染症になってしまいます。

◆好発部位◆

褥瘡は体のどの部分にもできる可能性があります。特にできやすいのは仙骨部（尻の中心）や坐骨部（座ったときに当たる尻の両脇）、かかとなどです。骨が盛り上がっていて皮膚の上から触れやすい部分が褥瘡ができやすい場所です。ベッドに長時間寝ている人や車いすを使う機会が多い人は注意が必要です。また、骨折などでギプスや添え木など堅いものが触れて皮膚に圧迫を与えた場合でも褥瘡ができることがあります。



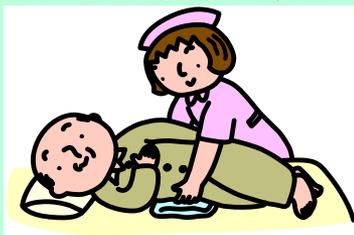
◆症状◆

褥瘡の深さと広さ、炎症の度合いにもよりますが、多くの場合は強い痛みとかゆみを伴います。しかし、感覚が鈍っている人などは、深い褥瘡ができるまで痛みを感じない場合があります。また、感染症にかかると治りが遅くなり、重症化すると命にかかわることがあります。

◆予防法◆

最も大事なことは、皮膚の血流を保つことです。定期的に姿勢を変えて、なるべく体を動かします。自分で体を動かすことができない人の場合は、2時間ごとに体の姿勢を変える必要があります。患部のマッサージはしてはいけません。また、皮膚が湿っていると褥瘡ができるリスクが高まるので、常に清潔で乾いた状態を保つように心がけます。

かかとやひじのように骨が出ている部分は、柔らかい素材で保護します。車いす生活の方や寝たきりの方には、圧迫を軽減できる特別仕様のベッド、マットレス、座布団、クッションなどを使います。



◆治療◆

褥瘡の治りを早め、新たな褥瘡ができるのを防ぐために高タンパクの食事など、栄養価の高い食事をとることが大切です。壊死がある場合は壊死組織を溶かす軟膏を使い、感染症がある場合は抗生物質の軟膏を使います。場合によっては手術を行うこともあります。治療法は患者さん個々に違うので、詳しくは医師へご相談ください。